

インターネットの魅力のひとつは、海外への情報発信が簡単にできること。でも、現実にはインターネットの事実上の公用語ともいえる英語力が必要。ということで、今月からウィットにあふれた映画評論でおなじみの西森マリーさんによる英文E-mail教室が始まります。



新連載
第1回

西森マリーの

ちょっとおしゃべりな英文「E-mail」

E-mailはシンプルに

E-mailの書き方は手紙よりも簡単です。 unnecessaryなレトリックはすべて排除して、本当に伝えたいことのエッセンスだけを簡潔な文章で書く。それがE-mailですから。

まず、基本的なことですが、英文の1行は60字程度が一番いい、とされています。

それと、メッセージは1ページに収まるホントに端的なものがいいみたい。これは、毎日E-mail攻めにあってる相手にも、興味を示してもらって最後まで読んでもらうための条件ってことでしょう。

では、試しに、わたしの自己紹介をE-mail風に書いてみましょう。receiverは仮に、O.J.シン普森裁判に詳しい弁護士のマイク、としておきますね。

To:*****
Subject: Introducing Myself
Cc:
Bcc:

Mike,

I'm interested in communicating with you. My name is Marie Nishimori. I was a TV news anchor-person for 5 years till last July. Now I work as a radio/magazine reporter stationed in Holland. I cover both politics and showbiz, but not business nor sports.

I'm hooked on the O.J. trial. Will you please tell me why the defense cannot use Mark Furhman's psychiatric file?

Bye,
Marie

【訳】あなたとコミュニケーションしたいと思っています。私の名前は西森マリー。去年の7月まで、テレビのニュースキャスターを5年間やっていました。今はラジオ/雑誌のライターとしてオランダに駐在しています。私の取材対象は政治とショウビジネスで、経済とスポーツはやりません。

O.J.裁判の中毒です。被告側がどうしてマーク・ファーマンの精神分析の記録を使えないのか教えてください。



be stationed in ... は「～に駐在している」、cover は「取材する」、be hooked on ... は「～に夢中、～中毒」という意味です。

日本語の対訳を見る限り、何の美辞麗句も季節の挨拶もなく、あまりにそっけなく「相手に失礼なのでは？」と思われるかもしれませんが、そんなことは全然ありません。この際、日本語の手紙の礼儀はキッパリ忘れてください。

何回もしつこいようですが、E-mailは簡潔でなくてはならないのですから。



自己紹介をE-Mailで

わたしの職業はあまりに突拍子もないものなので、みなさんが自己紹介する場合の参考にならないと思いますので、次に、ひな型になりそうな自己紹介文の本文を書いてみましょう。

I'm Yasuo Takano, a thirty-something accountant, male, not-yet married. My favorite pastime is playing Nintendo. I also like playing the guitar. I live in a suburb of Tokyo with two dogs and a cat.

My greatest concern these days is the habitat preservation.

【訳】僕は高野康夫、30代の会計士で、男性、まだ結婚していません。一番好きな娯楽はニンテンドーのゲーム。ギターを弾くのも好きです。東京の郊外に犬2匹、ネコ1匹と一緒に住んでいます。

今の一番の関心事は野生動物が息する環境の保護です。

thirty-somethingは「30いくつの、30代の」という意味。はっきり年齢を言う必要がないときに、この*-somethingは便利です。

「15歳の高校生」はa 15 year-old high school student、「26歳の数学教師」はa 26 year-old math teacher、「38歳のサラリーマン」ならa 38 year-old office workerです。

「～歳の」は、このようにyear-oldとハイフンでつなぐと次にくる名詞を修飾する形容詞として使うことができるので、I am a teacher and I'm 26 years oldとI'mを繰り返して使わなくても済むんですね。

male「男性」、female「女性」を付け加えるのは、外国人には日本人のファースト・ネームから男女の区別をつけることが不可能だからです。

ただ、PCのスクリーンを“人種、宗教、年齢、性別から解放された純粋な知的生命体同士の交信の場”と定義するほうが妥当なので、年齢や性別は明らかにする必要はないんですね。

でも、コンピュータ・デートをしたい方には、年齢、性別が必要な情報かもしれないので、その時こそ上記の“書き方”をお役立てください。

not-yet marriedは文字通り「まだ結婚していない」ということなので、「そのうち結婚したい」というニュアンスをメタ・メッセージとして伝えることができる、ちょっとトリッキーな表現です。

単に事実として「結婚していない」という現状を伝える場合は、singleとお書きください。

就職のための履歴書ではないので、家族構成を書く必要はさらさらありませんが、相手とより親密な関係を築くために自分が結婚してるかどうかを明らかにしたい場合は、married「結婚してる」、married with two children「結婚して子供が2人いる」、single「独身」、divorced「離婚した」などを状況に応じてお使いください。同じ境遇の人とお友達になれるかもしれませんよ。

ちょっとした工夫でメールに変化を

My favorite pastime is ... は「私の一番好きな娯楽は～です」という意味ですが、もちろんMy hobby is...やMy hobbies are...でも大丈夫です。I like...でもかまいませんが、前後の文がすべてIで始まっているので、マンネリを避けるためにこういう表現を使ってみました。

E-mailはコミュニケートをする場ですので、今自分が一番興味のあることを、パラグラフを変えて独立した1つの文章にすると、あなたの関心事をより鮮明に相手に伝えることができます。

My greatest concern is ... は、I'm really interested in...と同じ意味ですが、Iを多用することを避けるためにこの表現を使ってみました。

フレンドリーさが第一

ハナシが前後しちゃいますけど、もう一度わたしの自己紹介を例に、他の注意事項をチェックしましょう。

まず、出だし。フレンドリーな雰囲気を出すために、たとえ初めてE-mailを出す相手に対してもファースト・ネームで呼び掛けることをおすすめします。

E-mailとは直接関係ないかもしれませんが、

さんが、フォーラムなどに参加する、という場合は、特定の人物に対しての呼び掛けができないので、Greetings,で始めることをおすすめします。

一昔前の手紙だと、不特定多数に宛てる呼び掛けはDear Sirs,とか、Ladies and Gentlemenという硬い表現が一般的でしたが、E-mailでは男女を区別するなんてナンセンス!

わたしの自己紹介文はアメリカ人に宛てたもの、という仮定で書いているので、be hooked on...というアメリカのスラングを使っていますが、相手が英語を母国語としない人の場合はスラングの使用は避けて、I've been following the O.J. trial「O.J.裁判をフォローしている」などと書き換えましょう。

相手に何かリクエストをするときは、Will you please...?という形で、ハッキリとお願いをしたほうが分かりやすいでしょう。これをI want you to...とすると、Iを何度も使うことを避けられないばかりか、感情を伝えにくいスクリーンの上では威圧的に響いてしまう危険もあります。

最後の挨拶ですが、“挨拶”に凝る礼儀正しい日本人の目にはByeなんてあまりに失礼だと映るかもしれませんが、早さが勝負のE-mailではこれで十分です。従来の手紙みたいにSincerely yoursなんてまどろっこしい挨拶は、スペースと時間の無駄遣いですから。

では、また来月お会いしましょう。Bye!



西森マリー (Marie Nishimori)
CNN モーニングのニュースキャスターを5年務めた後、オランダに移住。
著書に『あの映画をもう一度見るときに役立つ本』(ジャパンタイムズ刊) などがある。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp